

第95号

平成30年1月1日



南知多のふくし



ハッピーちゃん

編集・発行 / 社会福祉法人 南知多町社会福祉協議会 南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘1番地 ☎0569-65-2687



名鉄海上観光船師崎港にて、南知多子ども会の協力で歳末募金運動が行われました。

共同募金運動とは

共同募金は、1947年（昭和22年）に始められ、民間によって運営される施設や社会福祉団体で行う事業に必要な資金を集める募金です。温かい「たすけあい」のところが、この募金を支え、民間の福祉活動を推進させます。

共同募金が他の募金と異なる点は、施設や民間社会福祉団体が福祉事業を行う計画をたて、その計画が達成できるように寄付金を募集、管理、配分し、総合的な調整をはかっていくことにあります。

共同募金には、大きく分けると「一般募金」と「歳末たすけあい募金」があります。

地域で行われる歳末たすけあい運動による寄付金や、NHKがテレビやラジオを通してよびかけるNHK歳末たすけあい運動による寄付金も共同募金の一環です。

目次

P1 共同募金歳末たすけあい運動

P3 赤い羽根共同募金入賞作品・募金中間報告

P5 ケアマネ、ヘルパーだより

P2 新年のごあいさつ

P4 産業まつりボランティアブース、南知多町戦没者追悼式

P6 精神保健福祉ボランティア講座、あいちシルバーカレッジのご案内



新春を迎えて

南知多町社会福祉協議会
会長 内藤 宗充



あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。又旧年中は、社会福祉協議会に深いご理解と、数多くのご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、「南知多町地域防災計画」の規定に基づき、大規模災害発生時に円滑かつ効果的なボランティア活動を推進する為に、「災害ボランティアセンター設置等に関する協定」を南知多町と締結しスタートしました。又、社会福祉法等の一部を改正する法律が、平成 29 年 4 月より適用され社会福祉法人の制度が大きく変わりました。現状の「地域福祉の推進と充実」を使命とした活動を推進する中で、今回の社会福祉法人制度の改革（主な内容）としては、「経営組織のガバナンスの強化・事業運営の透明性の向上等の改革を進め、介護人材の確保を推進するための措置」を講ずる事などが求められ、新定款に基づき「誰もが安心して暮らすことが出来る福祉のまちづくり」を目指してスタートする事が出来、またひとつ大きく前進した年となりました。

ところで、8年後の2025年には、団魂の世代が後期高齢期を迎え、日本は世界のどの国も経験のした事のない「超少子・高齢・人口減少社会」を迎える事が現実的となり、深刻な問題となっています。愛知県の場合、2025年には、高齢者の「一人世帯」が34万6千世帯、高齢者の「夫婦のみの世帯」が34万5千世帯と予測されています。今までは、病弱になって来ますと施設や病院に行っていたのですが、急速な高齢化社会への変化により、従来の施設には限りがあり、受けとめきれなくなる可能性が出てきます。今後は地域支援や在宅ケアの拡充・充実等が益々求められてくると思います。その為には、急速に進む高齢化社会を正しく理解して世代を超えた共存・共生が大切となり、血縁だけでなく性別・障害の壁などを越えて新たな「地縁づくり」へと地域全体での見守りなど、様々な生活支援が重要な課題になって来ました。

この様な事から、今各地で取組まれております、地域における“自分の住まいで自分らしい生活を繰返すことが出来るようにする”「地域包括ケアシステム（地域共生社会）」の構築を急がなくてはなりません。これは行政・医療・福祉・各種団体だけでは達成できません。地域の皆様一人ひとり、多様な経験と能力、経歴や人脈を持つ高齢者の皆さんが主役となって頂き、一人ひとりが「老齢期は衰退期ではなく人生の完結期」と前向きに意識を変えて、皆で考え、協力し合いながら作り上げ、大きな社会変化に対応して行く事が大切だと思います。

どうかこれからの「より良い福祉の町づくり」のために皆様方の更なるご理解と、積極的なご参加をお願い申し上げます。

社会福祉協議会としても従来の福祉サービス提供にとどまらず、介護を取りまく生活環境を考え少しでも地域住民の豊かな生活に貢献して行きたいと思っています。

新たなこの一年、皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平成 30 年 元旦

赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

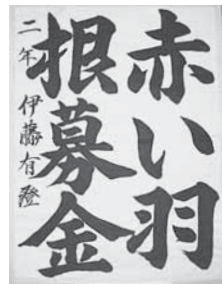
平成 29 年度も町内全小中学校よりポスター 110 点・書道 331 点とたくさんのご応募をいただきありがとうございました。厳正な審査の結果、県の入選 6 作品のうち 2 作品が審査員特別賞、銀賞をいただき、10 作品が町の入選となりました。おめでとうございます。ここに掲載させていただき、栄誉を称えます。なお、各地サービスセンターにて、地元入選作品を展示いただいております。(敬称略)

県 入 選 作 品



審査員特別賞

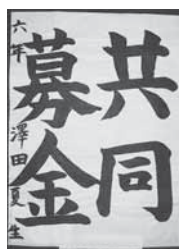
◀ 師崎小学校 3 年
杉本 京太



銀 賞

◀ 師崎中学校 2 年
伊藤 有澄

佳作



◀ 大井小学校 6 年
澤田 夏生



◀ 師崎中学校 1 年
竹味 紗良



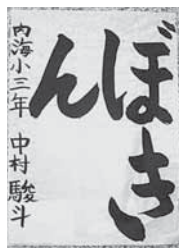
◀ 豊浜小学校 3 年
幸 里 紗



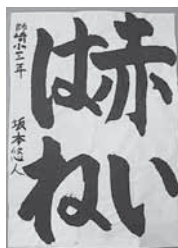
◀ 豊浜中学校 3 年
滝本 純正



町 入 選 作 品



◀ 内海小学校 3 年
中村 駿斗



◀ 師崎小学校 3 年
坂本 悠人



◀ 大井小学校 4 年
石黒 結菜



◀ 豊浜小学校 5 年
田中 未来



◀ 大井小学校 5 年
山下 小百合



◀ 大井小学校 1 年
鵜飼 亮成



◀ 篠島小学校 2 年
石橋 柚葉



◀ 内海小学校 5 年
竹内 一博



◀ 師崎小学校 5 年
鹿嶋 海



◀ 師崎小学校 5 年
磯部 光希

赤い羽根共同募金中間報告！

12月14日現在募金額 **3,433,852円**

ご協力くださった多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

南知多町共同募金委員会



東日本大震災・熊本地震復興支援販売会を行いました！

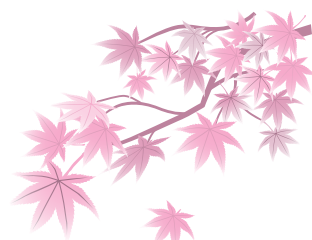
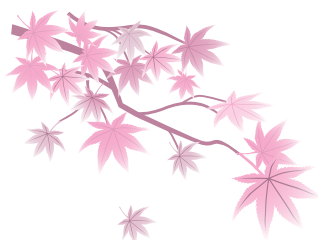
南知多町産業まつり内ボランティアブースにて行いました「復興支援販売会」も今年で5回目。宮城県・岩手県・福島県の特産品や手仕事製品に加え、昨年より熊本県・大分県の特産品も購入し販売しました。毎年購入してくださるお馴染みさんも増え、町内ボランティアグループの皆さんにお手伝いいただき、今年も特産品を完売することができました。

甚大な被害をもたらしたあの災害を風化させないために、また、微力ですが、私たちにできることを行い継続していきます。今後とも、ご協力をお願いいたします。



ハーディーちゃん

平成29年度南知多町戦没者追悼式が開催されました

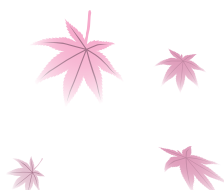


南知多町長 式辞

平成29年11月8日、平成29年度南知多町戦没者追悼式が南知多町総合体育館サブアリーナで開催されました。遺族をはじめ町長や来賓など約250人が出席し、御霊を追悼するとともに、恒久平和を祈念しました。



遺族会長追悼の辞



社協ケアマネ・ヘルパーだより

あけまして おめでとうございます

ケアマネです!!

久しぶりにご実家に帰られて、ご両親や祖父母の生活で、このような変化はありませんか？

- ❖ 以前より家が散らかっている。
- ❖ 口調がきつくなった。
- ❖ 料理の味付けが濃くなった。
- ❖ あざや擦り傷が増えている。
- ❖ 薬がたくさん余っている。



◎介護についての相談など、ケアマネジャー（ケアマネ）にお気軽にご相談ください。

南知多町社協指定居宅介護支援事業所
(南知多町社会福祉協議会内) TEL 0569-65-2728

ヘルパーの仕事ってどんな仕事？

ケアマネジャーが作成したプランに基づき、ヘルパーがご自宅へ訪問し、調理、掃除、入浴・排せつ介助、食事介助、服薬の見守りや利用者さんと共に調理や掃除等行います。利用者さんの能力に応じ、安心して自宅で生活ができるようサポートします。

法律の中で利用できない内容については、ご本人・ご家族・ケアマネジャー・ヘルパー共に必要と判断した場合、ケアプランに基づく自費ヘルパーも行っています。ご相談ください。



入浴の介助



服薬の見守り、介助



食事の介助



身体のおむきをかえる

南知多町社協ケアマネ・ヘルパーは、利用者さん一人一人と向き合い、サポートしていきます o(^-^o



ご相談ください

南知多町社協ヘルパーステーション
(南知多町社会福祉協議会内) TEL 0569-65-1106

精神保健福祉ボランティア講座

～ 地域で生きることについて考える～

南知多町社会福祉協議会では、精神障がいに関心がある方を対象にボランティア講座を開催します。
この講座は、こころの病や精神障がいがあっても地域の中で生きていくことについて一緒に考え、こころの病がある方への関わりなどについての理解を深めるとともに、病気や障がいに関係なく誰もが安心して地域で暮らしていけるための契機づくりとなることを目指し開催します。どなたでも参加いただけます。お気軽にお申し込みください。

内 容

「ほっとスペース『なちゅら〜れ』での体験型講座」

① 講 話 「『こころ』がりのままでいられるように」

講師：地域活動支援センター ワークルームかもめ施設長

② 当事者さん・ご家族との交流

＊「なちゅら〜れ」とは＊（平成24年4月～・毎月第3土曜日開催）

精神保健福祉ボランティア講座の施設見学体験で、「気持ちがほっとした」「自分があるままでいられた」そんな感覚を体験したメンバーたちが集まり、始めました。当事者さんだけにとどまらない「こころ」が和らいでいく感覚を「障害」という枠組みを外して大切にしたいと思い、「誰もががあるままでいられるほっとスペース」として、「なちゅら〜れ」を行っています。

日 時

平成30年2月17日(土)
午前10時00分～午後2時30分

会 場

地域活動支援センター
ワークルームかもめ

美浜町大字河和字上前田403
(半田保健所美浜保健分室内)

■受講料：無 料 ■昼食代：200 円（実費分） ■定 員：20名程度

■対 象：精神保健福祉ボランティアに関心のある、美浜町・南知多町に在住在勤在学の方

■お申し込み：2月9日(金)までに電話・FAX・メールで下記までお申込みください。

■主催 社会福祉法人 南知多町社会福祉協議会 社会福祉法人 美浜町社会福祉協議会 ■協力 NPO法人かもめ福祉会

社会福祉法人

南知多町社会福祉協議会

TEL 65-2687 FAX 65-2913

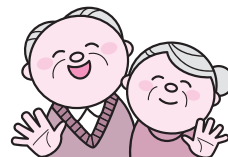
E-mail: info@minamichita-shakyo.com

平成30年度

あいちシルバーカレッジ東海

募集案内

高齢者の生きがいと健康づくりを応援するため、
「あいちシルバーカレッジ」を開講します。応募をお待ちしております！



◆日 時 平成30年4月～31年3月(全30日間)

午前10時～午後4時

◆会 場 東海市立市民活動センター（東海市太田川後田20-1 ソラト太田川3階）

◆対 象 県内在住の満60歳以上(昭和33年4月1日以前生まれ)の方

◆定 員 生きがい健康学科 70人(抽選)

◆料 金 年額2万3千円(予定)

※過去に在籍した方を除きます。

◆申し込み 2月5日(月)(当日消印有効)までに専用申込書を郵送

◆そ の 他 専用申込書は、募集パンフレットとともに南知多町役場保健介護課、および南知多町社会福祉協議会で配布。

◆問い合わせ 愛知県社会福祉協議会福祉生きがいセンター

電話 (052) 212-5521 ホームページ <http://aichoju.ec-net.jp/>